

若手は、いま何に悩んでいるのか。

—676名のリアルな声から見た現在地

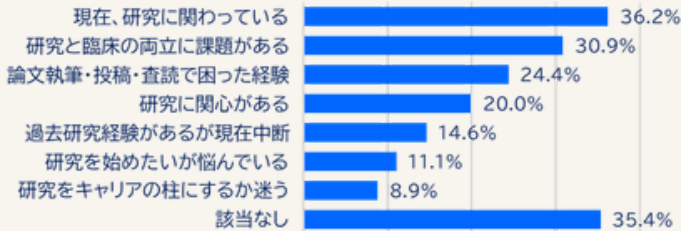
対象：45歳以下の会員

回答数：676件 回答率：11.6%

集計期間：2026年3月24日～5月6日

本セッションのグループディスカッション4つのテーマに沿って、
若手の関心と現状をアンケートしました。当日の議論につながる声の一部をご紹介します。

研究 「続けられない」という課題



時間・業務負担



「研究時間の確保が難しい」
「追われる」

資金・制度



「研究費の獲得が難しい」
「助成金の使用範囲の制限が多い」

指導・環境



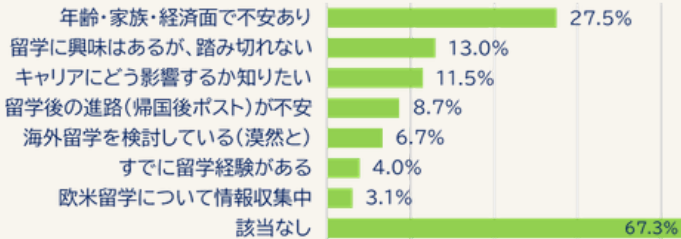
「指導してくれる人がいない」
「PIが忙しく相談しづらい」

キャリア不安



「研究を続けるべきか迷う」
「研究中心にすると収入が不安」

留学 行きたい < 現実が重い



経済・生活基盤



「圧倒的な円安で金銭的不安」
「生活費・医療費が心配」

家族・ライフイベント



「子どもがいると留学は難しい」
「タイミングが合わない」

情報・コネクション



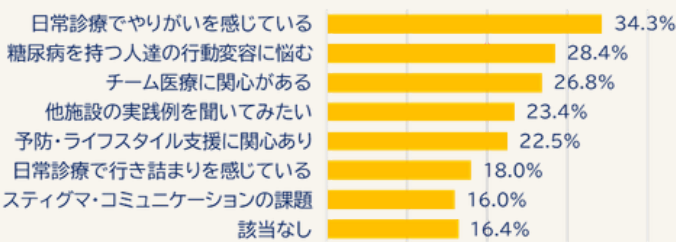
「留学先の探し方がわからない」
「コネクションがない」

キャリア不安



「帰国後のポストが不安」
「キャリアに有利？」

臨床 「どうしてる？」を知りたい



行動変容支援



「行動変容が難しい」
「継続できる工夫が知りたい」

チーム医療・院内連携



「多職種連携の進め方がわからない」

診療体制・業務負担



「診療負荷が大きい」
「糖尿病診療に集中できない」

モチベーション維持



「スタッフが辞めていく」
「努力が評価されにくい」

キャリア 人生のリソース配分に悩む



働き方・家庭との両立



「育児と両立できる未来が見えない」

進路選択



「臨床か研究か決めきれない」

ロールモデル不足



「同世代で第一線にいる人を見つけにくい」

制度・評価とのギャップ



「専門医更新の負担が大きい」
「時短ではキャリア形成が難しい」

この続きは
セッションで。

同世代と語り合い、ヒントを持ち帰る場を。
ぜひセッションにご参加ください！

セッション詳細・参加登録はこちらから→

